# 用　語　解　説

・ウエイト　・基準時における特定の業種、品目の全体に対する一万分比での構成割合であり、各業種、各品目の生産活動の結果が経済に与える影響の大小を表しています。生産指数は付加価値額ウエイト、在庫指数は在庫額ウエイトとしました。

・加重平均法　・個別指数にウエイトを乗じたものの総和を、ウエイトの総和で除して、個々の指数を総合したものを算出する方式のことです。

・基準時　・指数作成の際に基準となる時点または期間をいいます。５年ごとに基準時の改定を行っています。本書は平成 12 年を基準年としています。

・季節調整　・夏休みや正月休み、決算といった季節的要因、社会制度による１年を周期として繰り返される変動を取り除くことです。これを行うことによって前月や前期との比較が可能になります。

・季節調整済指数　・原指数に季節調整を行った指数をいいます。次により算出します。

季節調整済指数　＝　原指数　÷　季節指数　×　100

・原指数　・指数作成用データを季節調整せずにそのまま指数化したものをいいます。

・個別指数　・個々の品目の指数をいいます。生産指数における個別指数は次の算式で表されます。

個別（生産）指数　＝　比較時生産量　÷　基準時生産量　×　100

・時系列　・連続した時点の並びのことです。　例）2000 年１月－2 月－3 月…

・生産動態統計調査　・製造業の各品目の中から選んだ約 2,000 品目について、生産している事業所を対象に、毎月の生産、出荷、在庫などを調査、集計した統計調査です。経済産業省が所管する生産動態統計調査の結果に三重県生産動態統計調査の結果を加えて三重県鉱工業指数を作成しています。

・総合指数　・個別指数を加重平均し総合したものをいいます。

・比較時　・基準時と比較して、指数を表す時点または期間のことをいいます。

・付加価値額　・付加価値とは、生産を通じて新たに生み出した価値のことをいいます。鉱工業指数においては、付加価値額を次のように算出しています。

生産額－(原材料使用額等　＋　内国消費税額　＋　減価償却額)

・ラスパイレス算式　・指数を作成するための算式の一つであり、基準時（o）の各品目の固定ウエイト（W）で加重平均して算出します。鉱工業指数の総合指数算出に採用されています。

ラスパイレス算式は次のように表されます。

$$Lt = \frac{\Sigma p_0 \cdot q_t}{\Sigma p_0 \cdot q_0} = \Sigma \frac{W_0}{\Sigma W_0} \times \left(\frac{q_t}{q_0}\right)$$

（　Lt：ｔ時点の数量指数　$p_0$：基準時の価格　$q_0$：基準時の数量　$q_t$：ｔ時点の数量　）